

平成 2 9 年度

上サロベツ自然再生協議会

再生技術部会

報告資料

平成 2 9 年 6 月 2 3 日

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

サロベツ再生通信

2016.8発行 第23号

上サロベツ自然再生協議会運営事務局

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク
豊富町
環境省北海道地方環境事務所
北海道開発局稚内開発建設部
北海道宗谷総合振興局稚内建設管理部
林野庁北海道森林管理局

「サロベツ湿原と稚咲内砂丘林帯湖沼群 その構造と変化 ～最新科学が解き明かす謎と神秘の姿～」講演会

再生技術部会では、平成28年7月2日（土）豊富町定住支援センター「ふらっと☆きた」多目的ホールにおいて、本協議会員の富士田裕子先生（北大植物園長）がとりまとめられた『サロベツ湿原と稚咲内砂丘林帯湖沼群』の出版を記念した講演会を開催しました。

本著はサロベツ湿原や稚咲内砂丘林帯湖沼群に関する、環境諸科学の研究成果の集大成で、平成26年10月に出版されました。

当日は、富士田先生をはじめ、瞳沼の研究をされている岡田操氏と北海道教育大学函館校教授の紀藤典夫先生の3氏による講演が行われ、関係者や近隣住民など約60名の参加がありました。

普段はなかなか触れることのできない最新の研究成果について、執筆者から直接聞くことができる大変貴重な機会となり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



再生技術部会 現地調査会

講演会の翌日（3日・日曜日）には実際に自然再生事業が行われている現場を見学する現地調査会が開催されました。

朝から雨が降るあいにくの天候でしたが、「湿原センターから落合へ行く時間帯は降らないはず」との井上京再生技術部会座長による力強いご挨拶のもと、集合場所の豊富町役場から貸切バスに乗り込んで出発。湿原センターで身支度を整え、エントランス床面の航空写真で行程と全体の位置関係を確認した後、最初の調査地である落合へ徒歩で向かいました。



まさに井上先生の言葉通り小康状態となった空模様の中、環境省が湿原内で拡大しつつあるササの対策実証試験を行った場所を踏査。引き続き、北海道開発局によって整備された落合緩衝帯を見学しました。

その後、環境省のサロベツ原生花園跡地と北海道森林管理局による稚咲内砂丘林事業地はバス車内からの見学となりました。わずか半日の現地調査でしたが、普段はサロベツから離れた場所にお住まいの参加者も多く、貴重な機会となったことと思います。また湿原の植生や景観保全、事業や試験の今後の展開などについて、参加者間では活発な意見交換が行われていました。



◇ 講演会 ◇



再生技術部会井上京部会長による開会挨拶と
講演者の方々、工藤栄光豊富町長

富士田裕子氏
「サロベツ湿原 開発の歴史・変遷・再生事業の取り組み」



紀藤典夫氏
「サロベツ湿原と稚咲内砂丘林の形成史」



岡田操氏
「瞳沼と浮島の形成史」
手製の泥炭測定器による調査の実演



◇ 現地調査会 ◇



環境省 ササ対策実証試験におけるササ剥ぎ取り実施地
(稚内自然保護官事務所 坂本首席自然保護官)

北海道森林管理局 稚咲内砂丘林立ち枯れ対策の説明
(森林整備部技術普及課 坂田課長)



北海道開発局 落合緩衝帯
(稚内農業事務所第一工事課 幸口係長)



湿原ではヒオウギアヤメやエゾカン
ゾウなど多くの花々が咲いていま
したが、とくに緩衝帯の水路ではカキ
ツバタが群落になっていました。



「上サロベツ自然再生協議会」運営事務局 代表
〒098-4110 天塩郡豊富町大通6丁目 豊富町商工観光課
TEL: 0162-82-1001 FAX: 0162-82-2806
E-mail: saisei@town.toyotomi.hokkaido.jp

サロベツの自然再生については、
<http://www.town.toyotomi.hokkaido.jp/>
<http://sarobetsu-saisei.jp/>
もご覧ください。

